

草津市立クリーンセンター更新整備工事

落札者選定基準書（案）

平成26年7月

草 津 市

草津市（以下、「本市」という。）は、平成●年●月●日付草津市公告第●号に係る「草津市立クリーンセンター更新整備工事」（以下、「本工事」という。）についての総合評価一般競争入札（地方自治法施行令第167条の10の2）を行う。

本市では、以下に示す基本方針を基に施設整備を進めることとする。

・**安全で安定した施設**

施設での処理が安全に行われ、市民および施設職員が安心できる施設を整備し、維持管理が容易で耐久性に優れた設備を導入し安定した施設を目指す。

・**経済性・効率性を考慮した施設**

建設費および維持管理費などの運営費を含めたごみ処理コストの低減化や、効率的な資源化、およびエネルギーの有効利用を図る施設を目指す。

・**環境に配慮した施設**

環境汚染物質の発生を抑制し、環境負荷の低減を図り、余熱エネルギーの有効利用により循環型社会へ貢献できる施設を目指す。

この「草津市立クリーンセンター更新整備工事 落札者選定基準書」（以下、「落札者選定基準書」という。）は、総合評価一般競争入札による落札者の選定にあたり、応募者から提出される技術提案書等を客観的に評価するための審査項目及び方法等を示すとともに、上記基本方針の達成のため、本市が応募者の技術提案に期待している具体的な内容を示すものであり、「草津市立クリーンセンター更新整備工事 入札説明書」（以下、「入札説明書」という。）と一体のものである。

＜ 草津市立クリーンセンター更新整備工事 落札者選定基準書 目次 ＞

I. 落札者選定の手順.....	1
II. 入札参加資格の審査.....	2
1. 入札参加資格の審査.....	2
2. 入札参加資格の喪失.....	2
III. 応募者の審査及び落札者の選定.....	2
1. 事前審査.....	2
2. 非価格要素審査.....	2
3. 開札.....	3
4. 総合評価.....	3
IV. 落札者の決定及び公表.....	4
V. その他失格要件.....	4
VI. 入札の中止、延期など.....	4
別紙1 総合評価の審査について.....	5
1. 総合評価の審査項目と配点.....	5
2. 非価格要素審査における点数化方法.....	6
3. 価格審査における点数化方法.....	7
4. 総合評価点の算定方法.....	7
別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点.....	8

I. 落札者選定の手順

落札者を選定するため、図1に示す手順で総合評価一般競争入札を実施する。

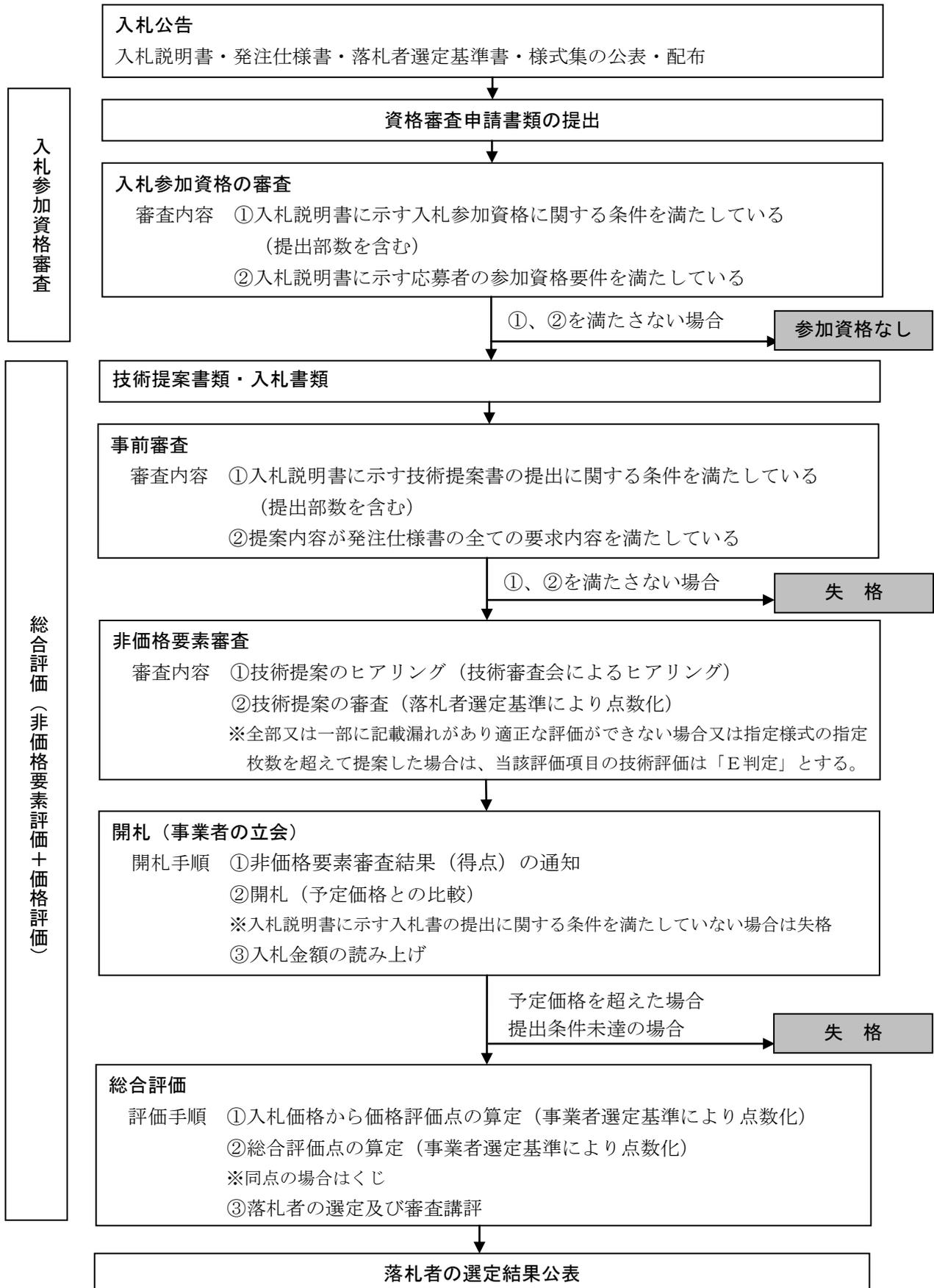


図1 落札者選定の手順

II. 入札参加資格の審査

1. 入札参加資格の審査

本市は、応募者より提出された入札参加資格審査申請書が、以下の①～②の条件を満たす応募者について参加資格を有するものとする。

なお、入札に参加できる応募者は、参加資格要件を満たすことが確認された応募者のみとし、参加資格要件を満たすことが確認されなかった応募者は参加することができない。

- ① 応募者が「入札説明書 Ⅲ. 3. (1) 資格審査申請書類の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること（各様式の記載要領にしたがうこと。なお、押印の不備の場合は参加資格がないものとする）。
- ② 応募者が「入札説明書 Ⅲ. 4. 応募者の参加資格要件」に示した要件を満たすこと。

2. 入札参加資格の喪失

入札参加資格の審査を合格した応募者が、入札参加資格の審査申請書類の受付期間の最終日から落札者の決定の日までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、入札参加資格を取り消し、本市より書面にて通知する。

なお、落札者となった者が事業契約締結までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、本市の判断により契約締結しないことがある。

III. 応募者の審査及び落札者の選定

1. 事前審査

本市は、応募者より提出された技術提案書類を確認し、以下の①～②の条件を満たさない応募者を失格とする。

- ① 応募者が「入札説明書 Ⅲ. 5. (1) 技術提案書類・入札書類の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること（各様式の作成要領にしたがうこと。なお、押印の不備の場合は、失格とする）。
- ② 提案内容が発注仕様書の全ての要求内容を満たしていること（性能に関する誓約書の確認を含む）。

2. 非価格要素審査

非価格要素審査の審査は、「草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会」（以下、「技術審査会」という。）で行う。

(1) 技術提案に関するヒアリングの実施

技術審査会は、技術提案書類を提出した応募者を対象に技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを以下のとおり実施する。

- ① ヒアリングは、平成 26 年 9 月中旬を予定しているが、実施日時、実施場所、実施方法など詳細については、別途通知する。
- ② 実施内容は、応募者の技術提案に関するプレゼンテーション及び質疑回答とする。

(2) 非価格要素審査

技術審査会は、技術提案に関するヒアリングを実施した後、「別紙1 2. 非価格要素審査における点数化方法」に基づき、技術提案書類に記載された内容について、「別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」により評価を行い、非価格要素の評価の点数（以下、「非価格要素評価点」という。）を決定する。

3. 開札

開札は、応募者又は代理者が立ち会いのうえで実施する。

(1) 開札の流れ

開札の流れは以下のとおりとする。

- ① 非価格要素評価点の読み上げ
- ② 入札書類の開封
- ③ 失格の有無の確認及び報告
- ④ 入札金額の読み上げ

(2) 予定価格との比較

本市は、入札書類の開封時において、応募者が提出した入札書の入札金額が予定価格を超えていないか確認し、予定価格を超えた入札書は無効とし、結果として応募者を失格とする。

(3) その他の失格要件

本市は、応募者より提出された入札書類を確認し、以下の①～③のいずれかに該当するときには、入札書類は無効とし、結果として応募者を失格とする。

- ① 草津市契約規則（平成6年草津市規則第10号）第14条の規定に該当する入札。
- ② 入札に必要な資格に虚偽の申請を行った者の入札。
- ③ 草津市入札心得に示す条件に違反した入札。

4. 総合評価

(1) 価格評価点の算定

本市は、「別紙1 3. 価格審査における点数化方法」に基づき、予定価格以下の入札書に対して価格評価の点数（以下、「価格評価点」という。）を算定する。

(2) 総合評価点の算定

本市は、予め技術審査会が決定した非価格要素評価点と算定した価格評価点から「別紙1 4. 総合評価点の算定方法」に基づき、応募者の総合評価点を算定する。

(3) 落札者の選定

本市は、総合評価点の算定結果を技術審査会に報告する。

技術審査会は、総合評価点を確認し、落札者を選定する。

なお、開札の結果、落札となるべき評価点を獲得した入札者が2者以上あるときは、抽選により落札候補者を決定する。抽選の方法は、くじとする。この場合、当該入札者がくじを引かない場合は、入札事務に関係のない本市職員にくじを引かせて落札候補者を決定する。

IV. 落札者の決定及び公表

前項の開札結果に基づき、技術審査会の審査、講評を経て、本市は、本工事を実施するに相応しいと判断した場合、落札者として決定する。

本市は、落札者の決定後、落札者及び審査結果を取りまとめて公表する。

なお、提案内容の評価結果に対する問合せは受け付けない。

V. その他失格要件

以下の各号のいずれかに該当する場合は、失格とする。

- ① 入札参加資格審査、技術提案書類（添付資料を含む）等の応募者が本入札に関して本市に提出した書類に虚偽の記載がある場合
- ② 著しく信義に反する行為をした場合
- ③ 関係者（技術審査会の委員を含む）に対する工作など不当な活動を行ったと認められる場合
- ④ 非価格要素評価点が満点の50%未満の場合
- ⑤ その他、落札者となることに相応しくないと判断した場合

VI. 入札の中止、延期など

公正な入札が確保できない、または、できなかつたと思慮される場合は、入札を中止または落札決定による予約を解除することがある。その場合、応募者は損害賠償等を請求できない。

別紙1 総合評価の審査について

1. 総合評価の審査項目と配点

総合評価の審査は、非価格要素審査と価格審査とを行う。非価格要素の評価と価格評価の配点は以下のとおりとする。

総合評価の審査項目は、本市及び技術審査会が応募者の提案に期待している事項である。なお、審査基準等の詳細は、「別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」を参照のこと。

項目	大項目	中項目	小項目	配点	
非価格要素審査	取組み方針	市が示す新クリーンセンター整備イメージの実現性		6点	
	安全で安定した施設	安全・安定処理できるプラント設計	焼却性能、建築物構造計画、安全性等への取り組み		2点
		安全施工	工程管理・品質管理・安全管理計画		2点
		安全な施設配置・車両動線計画	敷地内の車両動線、収集車両の待機スペース		2点
			施設内の車両動線、メンテナンス車両の動線		2点
			市民の車両動線（混載時の車両動線）		2点
			既存プラ、ペットボトル施設の将来配置計画と車両動線計画		2点
		安定稼働（運転）の実現	ごみ量、ごみ質への変動への対応		2点
			トラブル発生時の対応		2点
			災害時の運転（ごみ処理）		2点
		長寿命の実現	主要設備の耐用年数と補修計画、点検計画、保全計画		2点
			過熱器の耐用年数とその実現対策		2点
			大規模補修時の補修計画（大規模補修時期、大型重機設置等）		2点
			建築機械設備の補修計画		2点
	環境に配慮した施設	《エネルギーの森》循環型社会の構築に貢献する施設	自然エネルギー導入計画		2点
			省エネルギー設備導入計画		2点
		《自然環境の森》環境を大切にすることを育む施設	周辺のイオロ山等と調和をした景観デザイン		2点
			森をイメージした緑化、植栽計画、敷地や施設を活用した学習機能の整備		2点
		《市民活動の森》身近に感じられる施設	5感を刺激する見学者コース		2点
			啓発設備の設置と更新		2点
		市民活動スペースとその活用法		2点	
		環境保全性能		要監視基準値及び遵守方策	
	経済性・効率性を考慮した施設	エネルギーの有効利用	年間発電計画および売電計画		2点
			契約電力の低減		2点
			定期補修費の低減		2点
			運転人員の削減		2点
	その他の提案	地域貢献	地元企業の活用、資材調達への協力		2点
その他有効な提案		2点			
非 価 格 要 素 評 価 点				60点	
価格審査	価 格 評 価 点			40点	
総 合 評 価 点 （非価格要素評価点と価格評価点の合計）				100点	

2. 非価格要素審査における点数化方法

(1) 非価格要素評価点は、技術提案の審査項目（小項目）ごとに、次に示す5段階により評価、点数化し、その合計点とする。（点数の端数処理はしない）。

【取り組み方針】

評価	説明	点数
A	①市が示す新クリーンセンター整備イメージの実現性を期待できる。 ②本工事に携わる事業者としての熱意、意気込みを感じる。 ※上記①②全てに該当する場合	配点×1.0
B	—	—
C (基準)	①市が示す新クリーンセンター整備イメージの実現性を期待できる。 ②本工事に携わる事業者としての熱意、意気込みを感じる。 ※上記①②のうち、いずれかに該当する場合	配点×0.5
D	—	—
E	①市が示す新クリーンセンター整備イメージの実現性を期待できない。 ②本工事に携わる事業者としての熱意、意気込みが感じられない。 ※上記①②全て、もしくはいずれかに該当する場合	配点×0

【取り組み方針以外】

評価	説明	点数
A	①実現性及び効果のどちらも期待できる提案である。 ②上記の提案数が最も多い。 ③実現性及び効果を裏付ける根拠が明確である。 ※上記①～③全てに該当する場合	配点×1.0
B	①実現性及び効果のどちらも期待できる提案である。 ②上記の提案数が最も多い。 ③実現性及び効果を裏付ける根拠が明確である。 ※上記①～③のうち、2項目該当する場合	配点×0.75
C (基準)	④標準的な提案である。	配点×0.5
D	⑤実現性もしくは効果のどちらかを期待できる提案である。 ⑥実現性もしくは効果を裏付ける根拠に乏しい、不明な点がある。 ※上記⑤⑥のうち、いずれかに該当する場合	配点×0.25
E	⑦実現性及び効果のどちらも期待できない提案である。 ⑧実現性及び効果を裏付ける根拠に乏しい、不明な点がある。 ※上記⑦⑧全て、もしくはいずれかに該当する場合	配点×0

(2) 技術提案書の審査は、技術審査会で評価し、非価格要素評価点として点数化する。

(3) 技術提案書の全部又は一部に記載漏れがあり適正な評価ができない場合や指定様式の指定枚数を超えて提案した場合は、当該評価項目の技術評価は「E判定」となるので注意すること。

3. 価格審査における点数化方法

価格評価点は、入札金額（消費税及び地方消費税相当額は含まない。）に基づき、次の式により点数を算定する。

なお、算定式で求める点数は小数第3位を四捨五入した値とする。

【価格評価点の算定式】

- ・最低入札価格 > 基準額の場合

$$\text{価格評価点} = \text{配点} \times \text{最低入札価格} / \text{入札金額}$$

- ・最低入札価格 ≤ 基準額の場合

$$\text{価格評価点} = \text{配点} \times \text{基準額} / \text{入札金額}$$

※基準額…●●●, ●●●●, ●●●●●円

国土交通省「低入札価格調査制度」で示されている基準額の算定方法を基に積算した額。

ただし、基準額以下の価格を提示した応募者の価格評価点は満点とする。

4. 総合評価点の算定方法

「2. 非価格要素審査における点数化方法」で得られた非価格要素評価点と「3. 価格審査における点数化方法」で得られた価格評価点を用いて、次に示す算定式により、各応募者の総合評価点を算定する。

【総合評価点の算定式】

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素評価点} + \text{価格評価点}$$

別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点

技術審査会では、以下の各項目について審査を行う。

項目	大項目	中項目	小項目	記述内容	評価の視点	
非価格要素審査	取組み方針	市が示す新クリーンセンター整備イメージの実現性		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方 市への協力姿勢 本工事に携わる事業者としての熱意、意気込み 	実施効果（期待度）	
		安全・安定処理できるプラント設計	焼却性能、建築物構造計画、安全性等への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 安定燃焼の仕組み トラブル事例と技術革新 耐震設計に関する考え方 等 ※トラブル事例と技術革新は、応募者のみならず一般的な事例を踏まえて提案	具体性 実施効果（期待度）	
	安全で安定した施設	安全施工	工程管理・品質管理・安全管理計画		<ul style="list-style-type: none"> 工程表、品質管理計画、安全管理計画 	具体性 妥当性
		安全な施設配置 ・車両動線計画	敷地内の車両動線、収集車両の待機スペース		<ul style="list-style-type: none"> 待機スペース及び待機車両台数 	定量比較 妥当性
			施設内の車両動線、メンテナンス車両の動線		<ul style="list-style-type: none"> シンプルさ、わかりやすさ 車両輻輳箇所の有無、メンテナンス車両の軌跡 作業中の退避場所（周回車両を含む） 安全対策 作業効率（施設内のマシンハッチ等との位置関係） 	安全性 利便性 妥当性
			市民の車両動線（混載時の車両動線）		<ul style="list-style-type: none"> 原則、完全分離の考え方 安全対策 	安全性 利便性
			既存プラ、ペットボトル施設の将来配置計画と車両動線計画		<ul style="list-style-type: none"> シンプルさ、わかりやすさ 車両輻輳箇所の有無 安全対策 	安全性 利便性 妥当性
		安定稼働（運転）の実現	ごみ量、ごみ質への変動への対応		<ul style="list-style-type: none"> 性能曲線とごみ量、ごみ質への変動への対応提案（操炉計画等） 等 	実現性 実施効果（期待度）
			トラブル発生時の対応		<ul style="list-style-type: none"> フェールセーフ設計（事前発生防止、発生時の被害拡大防止計画等） 具体的な（事例をもとにした）トラブルの対処方法 等 	具体性 妥当性 実施効果（期待度）
			災害時の運転（ごみ処理）		<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時のごみ処理方法 継続してごみ処理が可能となる日数について（薬剤等の貯留日数との整合を図ること） 	実現性 実施効果（期待度）
		長寿命の実現	主要設備の耐用年数と補修計画、点検計画、保全計画		<ul style="list-style-type: none"> 主要設備の耐用年数と補修計画、点検計画、保全計画の考え方（第3-15号様式から抜粋） 等 	具体性 妥当性
			過熱器の耐用年数とその実現対策		<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数 その実現を裏付ける具体的な対策 ※他都市施設で●●年経過している実績があるという説明は、裏付けとして認めない。 ただし、実績を裏付けとしたい場合には、全ての実績データを提示すること。	定量比較 妥当性 実施効果（期待度）
			大規模補修時の補修計画（大規模補修時期、大型重機設置等）		<ul style="list-style-type: none"> 大規模補修時の大型重機設置場所、周回車両への影響の有無 ※蒸気復水器等、大型機器を更新する場合を想定	具体性 妥当性
			建築機械設備の補修計画		<ul style="list-style-type: none"> 建築機械設備（配管、配線）設置の基本的な考え方 建築機械設備（配管、配線）等の交換方法 	具体性 実施効果（期待度）

項目	大項目	中項目	小項目	記述内容	評価の視点
非価格 要素 審査	環境に配慮した 施設	《エネルギーの森》 循環型社会の構築に 貢献する施設	自然エネルギー導入計画	・太陽光発電等、自然エネルギーの有効利用を図った設備・機器の導入計画 ※啓発効果の高い設備・機器を想定	実施効果（期待度）
			省エネルギー設備導入計画	・場内使用電力の低減方法 ・低温排熱の利用方法 等	具体性 実施効果（期待度）
		《自然環境の森》 環境を大切にす るこ ころを育む施設	周辺のイオロ山等と調和をした景観デザイン	・イメージ図 ・工夫点 等	妥当性 バランス性
			森をイメージした緑化、植栽計画、敷地 や施設を活用した学習機能の整備	・緑地率 ・緩衝帯、建屋高さ ・工夫点 等	定量比較 妥当性 実施効果（期待度）
		《市民活動の森》 身近に感じられる施 設	5感を刺激する見学者コース	・施設見学動線図 ・イメージ図 等	利便性 妥当性
			啓発設備の設置と更新	・設置機器の啓発効果（狙い） ・機器更新、ソフト更新計画 等	具体性 実施効果（期待度）
			市民活動スペースとその活用法	・再来場を促す仕組み、教育プログラム ・対応可能な市民活動の種類（柔軟な運用が可能か） 等	具体性 実施効果（期待度）
	環境保全性能	要監視基準値及び遵守方策	・要監視基準値（排ガス）の考え方 ・遵守方策 等	実現性 妥当性	
	経済性・効率性 を考慮した施設	エネルギーの有効利 用	年間発電計画および売電計画	・発電機選定の考え方 ・年間売電量と操炉計画及び発電効率（安定発電方法） 等	定量比較 実現性 実施効果（期待度）
			契約電力の低減	・契約電力料金 ・工夫点 等	定量比較 妥当性 実施効果（期待度）
			定期補修費の低減	・第3-15号様式に記載した各設備の定期補修費 ・工夫点 等	定量比較 具体性 妥当性
			運転人員の削減	・通常の運転人員に対し、機械化、省力化の工夫により削減できる人員数 ※運転人員の合計ではなく、削減できる人員数	定量比較 実現性
	その他の提案	地域貢献	地元企業の活用、資材調達への協力	・左記小項目実現のための具体的な方法 等	具体性 実現性
		その他有効な提案		・具体的な提案 等	具体性 実現性 実施効果（期待度）